

プレハブ建築マイスター 推薦書類作成要領

1. 推薦書（様式－1）

- （1） 1 候補者につき正 1 部を作成してください。
- （2） 候補者の元請会社にて提出内容に錯誤、虚偽がない事を確認の上、作成してください。
- （3） 候補者が、以下の何れかに該当する「プレハブ建築」に就業する大工技能者であるか確認のうえ、ご推薦ください。当該内容に疑義がある場合は、別途証明書類の提出を求める場合があります。
 - ①建築基準法第 6 8 条の 1 0 に規定する型式適合認定を受けた建築物の部分を使用したもの
 - ②同法第 6 8 条の 1 1 に規定する型式部材等製造者の認証を受けた建築物の部分を使用したもの
 - ③住宅の品質確保の促進等に関する法律第 3 1 条に規定する住宅型式性能認定を受けた住宅のもの
 - ④同法第 3 3 条に規定する型式住宅部分等製造者認証を受けた住宅のもの
- （4） 記入方法
 - ① 推薦者（印）

元請会社名および元請会社の代表者名・役職名を記載し捺印してください。
 - ② 候補者氏名
フルネームで誤字がないように記載してください。
 - ③ 元請会社と候補者の証明をする会社、および候補者との関係を記入例に従い記してください
候補者の証明は本人以外の、元請会社・親会社または所属会社の長などの上位の立場の者としてします。

2. プレハブ建築マイスター審査表（様式－2）

- （1） プレハブ建築マイスターWEB登録ページに必要事項を記入してください。（下記アドレス参照）
<https://purekyo.smktg.jp/public/seminar/view/2186>
WEB登録が完了すると、元請会社担当者の登録 E-mail アドレス宛に「プレハブ建築マイスター審査表発行のお知らせ」メールが届きますので、メール記載のリンクより印刷出力し推薦書類として提出してください。1 候補者につき正 1 部を印刷してください。
- （2） 登録にあたり顔写真の画像データをご用意ください（p7 参照）。
 - ・上三分身（胸から上）、正面、無帽、背景無地、無修正の写真（認定証に使用します）
 - ・デジカメ等で撮影した JPG ファイル（縦横比 4:3、縦 600×横 450～縦 800×横 600 ピクセル程度、ファイルサイズ 400KB 程度以下）



- （3） WEB登録の入力情報について

- ① 推薦会社名（元請）

・様式1の推薦者となる元請会社名を記入してください。

② 推薦会社担当者（元請）

・推薦会社に所属する担当者の所属部署、氏名、連絡先等を記入してください。

・電話番号はできるだけ直通番号とし、連絡が取れるE-mailアドレスを記入してください。

（4）「候補者に関する事項」

① 氏名：認定証に使用しますので、誤字がないように記入してください。

② 生年月日：西暦で記入してください。

③ 年齢：登録日時点の年齢を記入してください。

④ 候補者顔写真、（2）に適合する画像データをアップロードしてください。

（5）「候補者の所属会社に関する事項（個人事業主も記載）」

① 会社名：個人事業主の場合は屋号等を記入してください。

② 候補者所属部署：個人事業主の場合は記入不要です。

3. 推薦基準調書（様式－3）

（1） 1 候補者につき正1部を作成してください。

（2） 様式－3の1から4の推薦基準すべてを満たす者が認定の対象者となりますので、これらの要件を充足していることを具体的に記入し、必ず裏付けとなる資料を添付してください。

① 技術・技能が優秀であること

・候補者の職務内容等を示した上で、その技能・技術の水準、特徴が他の技能者と比較して特に優れていることを具体的に説明してください。

（注）社内完工検査での重大不具合指摘がないこと、工期計画に対する遅れがないことが必須条件となります。

・技能・技術が優秀であることを示す資料として、取得資格・免許・競技大会等での入賞歴・表彰・指導経験等を様式－4の一覧に記入してください。

（注）職長・安全衛生責任者教育の修了が必須条件となります。

※「職長教育」のみの修了者は、安全衛生責任者の能力向上教育等の修了が必要です。

・候補者がこれまでに施工した著名な工事、工法・造作等の難度の高い工事の実績等や果たした役割等について記載してください。

② 工事施工の合理化等に貢献していること

下記に関する具体的な内容、効果並びにこれに対する候補者の関与の程度を記入してください。

また、これらを具体的に説明する資料を添付し、資料及び関係資料欄に資料番号を記入してください。その際、専門用語にはできるだけ注釈を入れるようお願いします。

- ・新工法の発案、導入や工法の改善
- ・工期の短縮、工程ロスの削減等工程管理の改善
- ・施工手順や施工方法の提案による作業上の創意工夫
- ・工具の発明、改良等作業上の創意工夫 等

（資料例）

- ✓ 手順書、提案書、図面、写真等で改良した内容が具体的に分かる説明資料
- ✓ 改良工法の社報等
- ✓ 合理化・品質・安全性に関する発明・改善・提案事例

③ プレハブ建築の工事施工において安全・衛生の向上に貢献していること

- ・ 候補者が安全・衛生の向上に貢献されている具体的な内容を記入してください。
- ・ 様式－４の「資格・免許等一覧」に安全衛生に関する資格、「表彰等一覧」に安全衛生に関する表彰等を記入してください。

(資料例)

- ✓ 安全優績者表彰
- ✓ 職長・安全衛生責任者教育修了証
- ✓ 安全管理者選任時研修・安全衛生推進者講習修了証
- ✓ 発注者等からの安全に関する表彰・感謝状等
- ✓ 建設業関係以外からの安全に関する表彰・感謝状等

④ 他の建設現場従業員の模範となっていること

- ・ 優秀施工者表彰や優良従業員表彰（永年勤続表彰）等の受賞や、若年労働者確保のための活動等候補者が現場従事者の模範となっていることについて具体的な内容を記入してください。
(ボランティアや地域貢献など業務関連以外も含めます。)
- ・ 様式－４の「表彰等一覧」に関連する表彰等を記入してください。

(資料例)

- ✓ 優秀施工者顕彰状
- ✓ 発注者等からの優良従業員表彰状等
- ✓ 永年勤続表彰、模範労働者表彰
- ✓ 警察署長の表彰状
- ✓ 顧客満足度優績者表彰
- ✓ 品質コンペ優績者表彰

４．資格証明書（様式－４）

(１) １候補者につき、正１部を作成してください。

なお、１枚に記載出来ない場合は個々で複写し、１枚目と同様に記入してください。

(２) 建設現場に就業した以降で取得した資格・免許、競技大会での入賞歴、各種表彰、指導経験を記載し、対応する各種合格証書、表彰状等の写しを添付書類として資料番号を付してください。

(時期は各種合格証書、表彰状等に記載の西暦あるいは和暦に合わせて記入してください。)

(注) 職長・安全衛生責任者教育の修了が必須条件となります。

(３) 記入内容

以下の要件に該当するものを記入してください。

- ① 技能・技術が優秀であること
- ② 工事施工の合理化等にご貢献していること
- ③ 安全・衛生の向上にご貢献していること
- ④ 他の建設現場従業者の模範となっていること

(４) 記載方法

① 資格・免許等一覧 (A)

- ・ (必須) 職長・安全衛生責任者教育

- ・技能、技術、安全衛生、指導関係のいずれの資格も記入してください。
- ・特別教育は記載しないものとします。

② 技能競技大会等入賞歴 (B)

- ・該当するものは全て記入してください。
(必ずしも上位の賞である必要はありません。)

③ 表彰等一覧 (C)

- ・技能、技術、安全衛生、指導関係のいずれの表彰も記入してください。
- ・建設業関係以外の表彰も記入してください。
- ・発注者等からの個別感謝状も記入してください。
- ・新聞記事、団体会報記事、社報記事、発表歴等も記入してください。

④ 指導経験一覧 (D)

- ・団体、会社、学校等での指導、講習実績等を記入してください。

⑤ 職歴 (プレハブ建築に就業した期間) (E)

- ・「所属会社名」「プレハブ会社名」は会社名、屋号等を記入してください。
なお、「プレハブ会社名」は当該所属会社に所属していた時に就業したプレハブ会社を記入してください。
- ・「現場業務就業期間」とは、当該所属会社でプレハブ建築に就業した期間※において、一般技能者または職長・班長等として工事に携わった期間をいいます。

(※就業期間に満 15 歳の 3 月 31 日以前の期間を含まない)

(注) 現場業務就業期間が 7 年以上が必須条件になります。

- ・「うち職長・班長就業期間」には、「現場業務就業期間」のうちで、職長・班長に相当する職務に就いていた期間を記入してください。
- ・職長・班長の期間が不明の場合は、「職長教育」修了後の期間を当該期間としてください。

(注) 職長・班長期間が 6 ヶ月以上であることが必須条件になります。

- ・「現場業務就業期間」、「うち職長・班長就業期間」は、1 ヶ月未満の端数日は切り捨ててください。

5. 工事経歴書 (様式－5)

- (1) 1 候補者につき正 1 部を作成してください。
- (2) 候補者が担当した工事 (職長等として管理のみを行った工事は除く) のうち、**昨年 10 月 1 日から本年 9 月 30 日までの完成工事**について様式－5 に、工事経歴を完成年月日が早い順に上から記入してください。この期間で、病気・怪我又はその他何らかの理由で工事に携われなかった期間があった場合は、その日数を加えた期間の完成工事を記入してください。又、この場合、事由を別紙 (自由書式) に記入し添付してください。

(例) 30 日間病気で工事に携われなかった場合

昨年 9 月 1 日から本年 9 月 30 日までの完成工事を記入

(3) 記入方法

1) 「物件情報、工事内容」

① 物件情報

- ・「建設地都道府県名」、「元請会社名」、「建物区分 (階数)」を記入してください。

- ・建物区分は、戸建住宅は「戸建」、集合住宅は「集合」、住宅以外は「非住宅」と記入してください。

② 工事内容

- ・担当した工事を下記から選び記入してください。

建て方、屋根、外壁、外部造作、内部造作、内装、外部建具、設備

2) 「担当職務」

- ・「職長」、「班長」、「作業員」のいずれかを記入してください。

3) 「工事期間」

① 計画期間、実績期間

- ・担当工事の工事開始から工事完了の計画期間と実績期間を記入してください。
- ・計画期間が明確でない場合は、標準的な工期を計画期間としてください。
- ・お客様の要望により工事内容が追加・変更となったことにより、工期が変更となった場合は、計画期間は変更後の工期を記入してください。

② 工期遵守

- ・「実績期間」が「計画期間」内に完了した場合は「○」を記入してください。
着手は計画前後でも「○」ですが、完了は計画内のみ「○」です。
- ・完了していない場合は「×」を記入し、工期遅延が自責でない事由を別紙（自由書式）に記入し添付してください。

4) 「工事床面積」：（工法区分）ユニット系、鉄骨系、コンクリート・木質系

- ・担当した工事の延床面積（㎡）を工法区分毎に記入してください（小数点1桁を四捨五入）。
- ・1階と2階を別な者が工事を行った場合等は、候補者が担当した部分の延床面積を記入してください。
- ・エクセルシートで「工事床面積」を入力すると、「合計床面積」「120㎡換算棟数」「鉄骨系換算棟数」「合計」が自動計算されます。エクセルシートに入力をしない場合は、手計算で「合計床面積」「120㎡換算棟数」「鉄骨系換算棟数」「合計」を算出してください。「120㎡換算棟数」は「合計床面積」を120㎡で割って算出してください。「鉄骨系への換算棟数」は、「120㎡換算棟数」に下記の「鉄骨系への換算係数」を掛けて算出してください。
上記棟数は小数点3桁を四捨五入してください。

＜鉄骨系への換算係数＞

ユニット系	0.70
鉄骨系	1.00
コンクリート系・木質系	1.40

5) 「重大不具合」

- ・重大不具合とは、工期に大きな影響を与えるやり替え作業のことで、以下のような事例を指します。
 - ✓ キッチン等の設備取付間違い
 - ✓ 壁等の造作材取付位置間違い
 - ✓ 床材（フローリング等）の貼り方向間違い
 - ✓ 工事を行った部屋・エリアの過半にわたる壁、床、天井の不陸 等
- ・候補者の行った工事で、候補者帰責による重大不具合がなかった場合は「なし」を記入して

ください。

6) 「評価項目の実績」

① 施工能力

・「鉄骨系換算棟数」の「合計」を記入してください。

エクセルシートで「工事床面積」を入力すると自動計算されます。

(注) 鉄骨系換算棟数合計7棟以上が必須条件になります。

*各基準（ユニット系：10棟以上、鉄骨系：7棟以上、コンクリート系・木質系：5棟以上）により、鉄骨系換算棟数を算出しています。

6. 刑罰等確認書（様式－6）

(1) 1候補者につき正1部を作成してください。

(2) 欠格事項である以下について有無を記入してください。

(注) 刑の執行終了若しくは刑の免除を受けてからの期間が、懲役・禁錮刑の場合は10年未満、罰金・拘留・科料刑等の場合は5年未満でないこと、かつ犯罪容疑者でないこと、かつ反社会的勢力との関係を有していないことが必須条件になります。

(3) 「刑罰」とは、懲役、禁錮、罰金、拘留、科料等の刑事処分をいい、反則金等の行政処分はこれに含みません。

(4) 記入方法

① 生年月日：西暦で記入して下さい。

② 刑罰等の有無：有りの場合は、刑の種類と年・期間を記入してください。

刑罰等の有無は、証明者ができる限りの事実関係を調査し、責任を持って確認してください。

③ 証明者：候補者の元請会社・親会社または所属会社の長等で、推薦者の上位の立場であり、刑罰を把握できる者が証明者になってください。

尚、元請会社と証明する会社、候補者との関係は様式1に正しく記入してください。

7. 無災害証明書（様式－7）

(1) 1候補者につき正1部を作成してください。

(2) 無災害期間とは、候補者本人の責任による休業4日以上労働災害を発生させていない期間であり、評価期間は本調書作成日までの3年間以上としてください。

(3) 記入方法

① 生年月日：西暦で記入してください。

② 無災害期間：証明者が証明できる期間について記入してください。

候補者が転職等によりこれまでに複数の建設会社に所属したことがある場合は、候補者が現在所属している会社だけでなく、過去に所属していた会社や元請会社を証明者とする無災害証明書を合わせて提出しても差し支えありません。

③ 証明者：候補者の元請会社・親会社または所属会社の長等で、推薦者の上位の立場であり無災害を把握できる者が証明者になってください。

尚、元請会社と証明する会社、候補者との関係は様式1に正しく記入してください。

◆ご参考

適切な顔写真の画像データ例

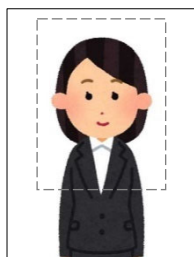
- ・縦横比 4:3、上三分身（胸から上）、正面、無帽、背景無地、無修正、適切な余白
- ・JPG ファイル（縦 600×横 450～縦 800×横 600 ピクセル程度、
ファイルサイズ 400KB 程度以下）



不適切な画像データ例



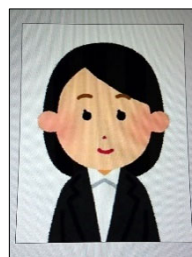
縦横比間違い



上三分身
より小さい



上三分身
より大きい



免許証等の
写真の写真



写真の加工



不鮮明

※破線囲み(↑)：上三分身、適正余白

※掲載画像の他、歯が見えている、顔が傾いている、正面を向いていない、背景が無地単色でない、写真も不適切となります。

(様式－1)

西暦で記載。

年 月 日

一般社団法人プレハブ建築協会 会長殿

元請会社名および原則、元請会社の代表者名・役職名を記載し捺印。

推薦者 (印)

プレハブ建築マイスター候補者の推薦について

下記の者は、プレハブ建築大工技能者として業務に精励し、常に技能・技術の向上に務め、他の模範となる者でありますので、プレハブ建築マイスターとしてプレハブ建築協会の認定を賜われますよう関係書類を添えて推薦いたします。なお、提出書類に虚偽がないことを証明いたします。

記

候補者氏名

候補者氏名をフルネームで誤字がないように記載。(様式2の候補者氏名と整合性がとれているか確認)

推薦者との関係性

(推薦会社) ●●ハウス(株) → (一次会社) ●●建設 → (二次会社) ●●工務店
→ (候補者) 建築 一郎

推薦会社(元請)
様式6,7の証明会社、候補者の3者の関係をここに示す。候補者本人による証明は不可。

プレハブ建築マイスター審査表

記入不要

(様式１) 推薦者
となる元請会社
名を記入

整理番号				
0. 推薦会社名 (元請)	プレハブ建築株式会社			
推薦会社 担当者 (元請)	所属部署	〇〇〇〇支社 〇〇〇〇〇〇本部 〇〇〇〇〇〇部 〇〇〇〇〇〇課 〇〇 〇〇〇〇グループ		
	ふりがな	すいせん たろう	TEL	()
	氏 名	推薦 太郎	FAX	()
	E-mail	様式１の氏名と同一であること		
1. 候補者に関する事項				
ふりがな	けんせついちろう	性別	男	
氏 名	建設 一朗	西暦で記入		
生年月日	1968年 4月 1日	年齢 (申請時点)	満 51 歳	
T E L	()	申請時点の年齢		
写真 30*40mm を基準に枠内 配置 ※破線は 36*48mm				
2. 候補者の所属会社に関する事項 (個人事業主も記載)				
ふりがな				
会社名				
本社 所在地	(〒 -)			
	TEL ()			
候補者 所属部署 (住所・TELは 本社と異なる 場合のみ記入)	部署名			
	(〒 -)			
	TEL ()			

個人事業主の場合は記入不要

(様式－3)

候補者氏名 ()

推薦基準調書

推薦基準	推薦事由・根拠	関係資料
1 技能・技術が優秀であること 前提条件として 社内完工検査での重大不具合指摘がないこと、工期計画に対する遅れがないことが必須となります。 様式－5に記入	・候補者〇〇は、軽鉄材を使用した壁・天井下地組み及び石膏ボード貼り、寄木合板による床貼り、建具枠及び建具の取付け等の大工工事に幅広く携わり、〇〇資格取得など自己研鑽を積み、永年の職務従事により培った知識・技能を有しており、特に下記の技能に優れている。 ・壁下地の建て入れを基準内に調整できる ・建具枠の建て入れを基準内に調整できる 等 大工技能者に必要な資格及び社内外を問わず技術・技能に関する表彰履歴・指導経験等を記載し、作業上の創意工夫等候補者が行った ことを具体的に記入してください。詳細や図面等は別紙とし、任意 の資料番号を付してください。	様式－4 様式－5 資料
2 工事施工の合理化等に貢献していること	・〇〇邸新築工事において、悪天候が続いたことから工期が厳しい状況にあったため、候補者〇〇は通常は現場で加工している垂直方向の壁石膏ボードの切断作業に変えて、あらかじめ工場で石膏ボードを切断してから現場へ搬入する工法を提案し、効率性、安全性の向上に貢献した。当該提案 は〇〇ホームズにおいて改善提案賞を受賞した。 発明・改良・工法の発案・導入・改善、作業上の工夫等候補者が行った ことを具体的に記入してください。詳細や図面等は別紙とし、 任意の資料番号を付してください。	資料
3 安全・衛生の向上に貢献していること 前提条件として 職長・安全衛生責任者教育の修了が必須です。様式－4へ記入と資料を添付	・候補者は安全・衛生の向上のため、社内で行う安全パトロールにおいて指導に当たるとともに、日頃から使用工具の点検を行い事故防止に努めている。 ・候補者は職長・安全衛生責任者能力向上教育を5年ごとに受講しており、安全衛生に関する知識の取得に努めて自らの能力向上をはかり、チーム員の指導を実践している。 安全・衛生の向上に関して実際に行っていること等を具体的に記載してください。	様式－4 資料
4 他の建設現場就業者の模範であること	・平成〇〇年より、社内技能講習に講師として積極的に参加し、後進の指導育成に寄与している。 ・令和〇年〇月に元請け会社〇〇ハウスより、顧客満足度向上に寄与した職方として顧客満足度優秀者表彰を受けた。 建設業との関連の有無を問わず、他の現場就業者の模範となることを具体的に記載してください。	様式－4 資料

※1から4の推薦基準すべてを満たす者が認定の対象者となりますので、これらの要件を充足していることを具体的に記入し、必ず裏付けとなる資料を添付してください。

(様式－4)

候補者氏名 (○○○ ○○○)

時期は各種合格証書・表彰状等に記載の西暦あるいは和暦に合わせて記入する。

資格等証明書

資格・免許等一覧 (A)

特別教育は記載不要。

取得時期	資格・免許名称	資料番号
○年△月	職長・安全衛生責任者教育 ← 必須条件	A-1
○年△月	◇◇取扱作業安全衛生教育	A-2
○年△月	××技能講習	A-3
○年△月	※級□□技能士	A-4
○年△月	職業訓練指導員 (××科) 免許	A-5
○年△月	※級建築施工管理技士	A-6

技能、技術、安全衛生、指導関係のいずれの資格も記載する。

資格者証等のコピーに資料番号を付する。

技能競技大会等入賞歴 (B)

実施時期	大会名称・部門	順位	資料番号
○年△月	第◇回 ▼▼県 建築大工技能競技大会	入賞	B-1
○年△月	□□会社 建築大工技能競技大会	3 位	B-2

賞状等のコピーに資料番号を付する。

表彰等一覧 (C)

表彰等時期	表彰等名称	資料番号
○年△月	□□会社 安全優績者表彰	C-1
○年△月	××工務店 永年勤続表彰	C-2
○年△月	■ ■ 県 優秀技能者表彰	C-3
○年△月	◎◎警察署 人命救助感謝状 ← 建設業関係以外の表彰も記載する。	C-4
○年△月	▲▲会社 顧客満足度優績者表彰	C-5
○年△月	□□会社 品質コンペ優秀表彰	C-6

技能、技術、安全衛生、指導関係のいずれの資格も記載する。

指導経験一覧 (D)

委嘱状等のコピーに資料番号を付す

時期		名称	実施機関	資料番号
自	至			
○年△月	●年▲月	□□職業訓練校 講師 (建築科)	□□職業訓練校	D-1
○年△月	●年▲月	××会社 新入技能者育成専任担当	××会社	D-2
○年△月	●年▲月	■ ■ 高校 先輩先生講座担当	■ ■ 高校	D-3

職歴 (プレハブ建築に就業した期間) (E)

就業した期間のみを記載し、期間は満 15 歳の 4 月 1 日以降であること

所属会社名	プレハブ会社名	現場業務就業期間	うち職長・班長就業期間
□□会社	○○ハウス	1 年 3 月	なし
××工務店	△△ホームズ	4 年 0 月	0 年 3 月
株式会社 ■ ■	◎◎ホーム	2 年 6 月	2 年 6 月
		必須条件：現場業務就業期間が 7 年以上	必須条件：職長・班長就業期間が 6 ヶ月以上
期間合計		7 年 9 月	2 年 9 月

(様式-5) 工事経歴書

候補者氏名 ()

No.	物件情報、工事内容	担当職務	工事期間			工事床面積 (㎡)			重大不具合 (件)	
			計画期間	実績期間	工期遵守	ユニット系	鉄骨系	コンクリート・木質系		
1	【物件情報】 埼玉県・〇〇ホーム㈱・戸建 (2階建て) 【工事内容】 建て方、屋根、外壁、外部造作、内部造作、内装、外部建具、設備	職長	2019年10月12日 ～ 2019年12月25日	2019年10月11日 ～ 2019年12月22日	○	215			なし	
2	【物件情報】 埼玉県・〇〇ホーム㈱・戸建 (2階建て) 【工事内容】 建て方、屋根、外壁、外部造作、内部造作、内装、外部建具、設備	職長	2020年1月6日 ～ 2020年3月2日	2020年1月7日 ～ 2020年3月2日	○	450			なし	
3	【物件情報】 埼玉県・〇〇ホーム㈱・集合 (2階建て) 【工事内容】 建て方、外部造作、内部造作	班長	2020年3月4日 ～ 2020年8月30日	2020年3月4日 ～ 2020年8月30日	○			525	なし	
4	【物件情報】 埼玉県・〇〇ホーム㈱・戸建 (2階建て) 【工事内容】 建て方、屋根、外壁、外部造作、内部造作、内装、外部建具、設備	職長	2020年9月2日 ～ 2020年10月10日	2020年9月2日 ～ 2020年10月10日	○		220		なし	
5	【物件情報】 【工事内容】		～	～						
6	【物件情報】 【工事内容】		～	～						
7	【物件情報】 【工事内容】		～	～						
8	【物件情報】 【工事内容】		～	～						
9	【物件情報】 【工事内容】		～	～						
10	【物件情報】 【工事内容】		～	～						
11	【物件情報】 【工事内容】		～	～						
12	【物件情報】 【工事内容】		～	～						
13	【物件情報】 【工事内容】		～	～						
14	【物件情報】 【工事内容】		～	～						
15	【物件情報】 【工事内容】		～	～						
16	【物件情報】 【工事内容】		～	～						
17	【物件情報】 【工事内容】		～	～						
18	【物件情報】 【工事内容】		～	～						
18	【物件情報】 【工事内容】		～	～						
20	【物件情報】 【工事内容】		～	～						
21	【物件情報】 【工事内容】		～	～						
22	【物件情報】 【工事内容】									
23	【物件情報】 【工事内容】									
24	【物件情報】 【工事内容】									
25	【物件情報】 【工事内容】									
						合計床面積	665	220	525	合計
						120㎡換算棟数	5.54	1.83	4.38	
						鉄骨系換算棟数	3.88	1.83	6.13	11.84

・候補者が担当した工事(職長等として管理のみを行った工事は除く)のうち、**昨年10月1日から本年9月30日までの完成工事**を完成年月日が早い順に上から記入してください。

・上記期間で、病気・怪我又はその他何らかの理由で工事に携われなかった期間があった場合は、その日数を加えた期間の完成工事を記入してください。又、この場合、事由を別紙(自由書式)に記入し添付してください。(例)30日間病気で工事に携われなかった場合
昨年9月1日から本年9月30日までの完成工事を記入

・計画期間が明確でない場合は、標準的な工期を計画期間としてください。

・お客様の要望により工事内容が追加・変更となったことにより、工期が変更となった場合は、計画期間は変更後の工期を記入してください。

・「実績期間」が「計画期間」内に完了した場合は「○」を記入してください。着手は計画前後でも「○」ですが、完了は計画内のみ「○」です。

・完了していない場合は「×」を記入し、工期遅延が自責でない事由を別紙(自由書式)に記入し添付してください。

(例)
計画期間 □年10月15日～□年12月20日
実績期間 □年10月15日～□年12月21日⇒×・12月20日⇒○・12月19日⇒○
* 着工実績日は、着工計画日から前後しても「○」だが、完了実績日は完了計画日と同日又は前の日付の場合でなければ「✖」

・担当した工事の延床面積(㎡)を工法区分毎に記入してください(小数点1桁を四捨五入)。

・1階と2階を別な者が工事を行った場合等は、候補者が担当した部分の延床面積を記入してください。

・「鉄骨系換算棟数」の「合計」を記入してください。エクセルシートで「工事床面積」を入力すると自動計算されます。

(注)鉄骨系換算棟数合計7棟以上が必須条件になります。

* 各基準(ユニット系:10棟以上、鉄骨系:7棟以上、コンクリート系・木質系:5棟以上)により、鉄骨系換算棟数を算出しています。

・重大不具合とは、工期に大きな影響を与えるやり替え作業のことで、以下のような事例を指します。

✓キッチン等の設備取付間違い
✓壁等の造作材取付位置間違い
✓床材(フローリング等)の貼り方向間違い
✓工事を行った部屋・エリアの過半にわたる壁、床、天井の不陸 等

・候補者の行った工事で、候補者帰責による重大不具合がなかった場合は「なし」を記入してください。

<施工能力基準 (1年間の施工棟数)>

ユニット系	10棟以上
鉄骨系	7棟以上
コンクリート系・木質系	5棟以上

<鉄骨系への換算係数>

ユニット系	0.70
鉄骨系	1.00
コンクリート系・木質系	1.40

評価項目	工期遵守	施工能力	重大不具合
基準	遅れなし	鉄骨系換算棟数合計: 7棟以上	指摘なし
実績	—	11.84	—

改定 2025年9月16日

凡例のみ改定

(様式－6)

刑 罰 等 確 認 書

候補者氏名 建設 一郎

生年月日 1968年4月1日

西暦表示とする。

刑罰等の有無

無し

(有りの場合)

禁錮3年 (2002年4月～2005年3月)

上記事項に相違ないことを確認しました。

尚、候補者との関係は、様式1に記載の通りです。

証明者は様式1で、元請、候補者との
関係を明記した会社の長とする。
候補者本人による証明は不可。

2025年11月1日

西暦表示とする。

証 明 者

会社名 ○○建設株式会社

役 職 代表取締役社長

氏 名 ●● ●●

(印)

改定 2025年9月16日

凡例のみ改定

(様式－7)

無災害証明書

候補者氏名： 建築 一朗

生 年 月 日： 1968年 4月 1日

西暦表示とする。

上記の者は、建設現場業務において常に安全・衛生に万全を期しており、3年以上にわたって、休業4日以上 of 自己責任による労働災害を発生させていないことを証明いたします。

尚、候補者との関係は、様式1に記載の通りです。

西暦表示とする。

2025 年 11月 1日

証明者は様式1で、元請、候補者との関係を明記した会社の長とする。
候補者本人による証明は不可。

証 明 者

会社名

〇〇建設株式会社

役 職

代表取締役社長

氏 名

● ● ● ●

(印)

審査書類作成後、以下のチェックリストにて提出内容に不備がないかをもう一度確認してください。
なお、このチェックリストは提出の必要はありません。

プレハブ建築マイスター 推薦書類不備チェックリスト（申請者用）

改定：2025年5月13日

候補者氏名	
-------	--

提出前にもう一度以下の項目について各書類をチェックして下さい。

様式	チェック項目	チェック (レ点)
様式1(推薦書)	元請の責任者・事業主の氏名・役職名を記載し押印している。	
	元請、様式6、7の証明者、候補者との関係が明確に記載されている。	
	証明者は候補者本人ではなく、かつ候補者の上位の立場である(本人が事業主の場合は元請会社・親会社等にて証明)。	
	証明者の押印した原本である。	
様式2(審査表)	記載要件との食い違い、空欄、誤字がない。	
	写真は適正に添付されている。	
	候補者の所属会社に関する事項には、個人事業主も記載されている。尚、個人事業主は会社名を屋号または氏名での記載も可とする。	
様式3(推薦基準調書)	「1. 技能・技術が優秀であると認められること」欄にプレハブ建築に係る技能・技術が優秀であると認められることの推薦事由に記載があり、顕著と認められる。裏付けとなる資料がある。	
	「2. 工事施工の合理化等に貢献していること」欄にプレハブ建築に係る技術開発や施工の合理化を図り顕著な成績を挙げているなど推薦事由に記載があり、顕著と認められる。裏付けとなる資料がある。	
	「3. 安全・衛生の向上に貢献していること」欄にプレハブ建築の安全施工において安全衛生の向上に貢献しているなど推薦事由に記載があり、顕著と認められる。裏付けとなる資料がある。	
	「4. 他の建設現場就業者の模範であること」欄に優秀施工者表彰等の受賞や労働者の確保活動が現場就業員の模範となっている、または後進の指導育成に貢献しているなど推薦事由に記載があり、顕著と認められる。裏付けとなる資料がある。	
様式4(資格等証明書)	「職長・安全衛生責任者教育」を記載している。【必須条件】 ※「職長教育」のみの修了では資格要件を満たさず、「安全衛生責任者（能力向上）教育」の修了が必要で、両方記載している。	
	資格・免許等、技能競技大会等入賞歴、表彰等、指導経験を記載している。 その証明書等の写しを番号を付して添付し、資料番号との整合を確認した。	
	所得時期は証明書等に記載の西暦あるいは和暦に合わせて記載している。	
	「所属会社名」は雇用関係にある会社を記載している。 「プレハブ会社名」はその期間に就業した会社を記載している。	
	就業期間等は、労働基準法に抵触しないこと（満15歳の3月31日以前を含まない）。	
	現場業務就業期間の合計：7年以上【必須条件】	
	職長または班長としての就業期間の合計：8ヵ月以上【必須条件】	
様式5(工事経歴書)	職長等として管理のみを行った工事が含まれていない。	
	完成日が、昨年10月1日から本年9月30日までの工事のみを記入したか。	
	病気・怪我又はその他何らかの理由で工事に携われなかった期間があった場合は、その日数を加えた期間の完成工事を記入している。 又、この場合、事由を別紙（自由書式）に記入し添付している。	
	完成年月日が早い順に記入している。	
	「工事期間」欄の「実績期間」の完了日は「計画期間」内に入っている。 完了していない場合は「×」を記入し、工期遅延が自責でない事由を別紙（自由書式）に記入し添付している。	
	「物件情報」「工事内容」「担当職務」の内容を、正しく全ての欄に記入している。	
	社内完工検査重大不具合件数 指摘ゼロである。 (直近1年分：但し、病気・怪我又はその他何らかの理由で工事ができなかった期間を除く)	
	工期遵守率 100%である。 (直近1年分：但し、病気・怪我又はその他何らかの理由で工事ができなかった期間を除く)	
様式6(刑罰等確認書)	鉄骨系換算の施工能力が7棟以上である。 (延べ床面積120㎡/棟を基準、換算前でユニット系：10棟/年以上 鉄骨系：7棟/年以上 コンクリート、木質系：5棟/年以上)	
	刑の執行終了若しくは刑の免除を受けてから懲役・禁錮刑の場合10年以上、罰金・拘留・科料刑等の場合5年以上経っている。	
	証明者の役職は、適切に記入されている。 (証明者は様式1に関係を記した会社の長である)	
	反社会的勢力との関係を有していない。	
様式7(無事故証明書)	証明者は候補者本人ではなく、かつ候補者の上位の立場である。	
	証明者の押印した原本である。	
	候補者の自己責任による休業4日以上の労働災害が申請日から3年以上発生していない。	
	証明者の役職は、適切に記入されている。 (証明者は様式1に関係を記した会社の長である)	